

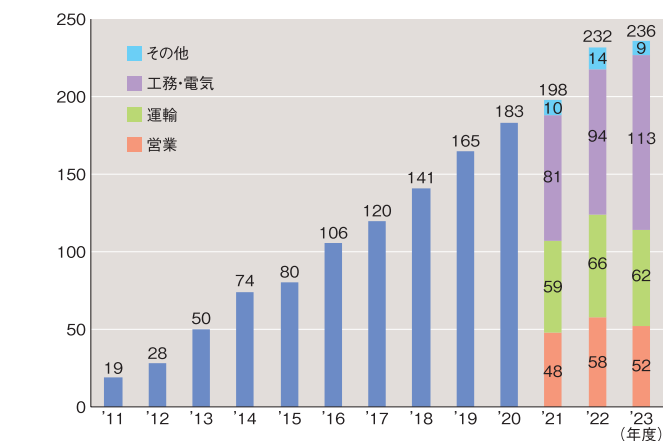
人材の確保

安心して働き、活躍できるJR北海道グループを目指し、働きがいの向上、ダイバーシティ、働き方改革等に取り組んでいます。

人材の確保・育成及び働きがいの向上

- 労働条件の改善
 - ・人材の確保・働きがいの向上を目的とした賃金改善の実施
- 自己都合退職者数の抑制・採用数の確保
 - ・系統間異動の実施(工務・電気系統社員を対象とした車掌試験)
 - ・自己都合退職者を対象とした再雇用(カムバック採用)の実施
 - ・新卒採用に向けた学生との継続的な接触機会の創出・強化
 - ・積極的な社会人採用に向けた対象者・採用機会の拡大
 - ・開発事業スキルを有した人材の積極的な採用
 - ・採用に関する広報強化
- コンプライアンス意識の醸成
 - ・ハラスメントの防止に向けた教育の実施
- 組織・事業運営をリードする人材の育成及び技能・技術の確実な継承
- 「私たちの誓い」を題材にした社員の誇りの醸成

自己都合退職者数の推移



会社説明会の様子



インターンシップの様子(社員研修センター実習線にて)

ダイバーシティ

- 女性が活躍できる職場・職種の拡大
 - ・新たな職場の配属に向けた女性用設備の整備
 - ・駅輸送・車両検修等、新たな職種への配属
- 障がい者雇用の法定雇用率維持及び活躍できる体制の整備

働き方改革

- 多様な働き方の推進
 - ・リモートワークの導入
 - ・育児・介護をする社員が始終業時刻を選択できる仕組みの導入
- 提携保育所の拡充

福利厚生の実施

- 老朽化した社宅の計画的な建て替えによる快適な住環境の整備

〈音威子府社宅〉



建て替え前



建て替え後

〈白糠社宅〉



建て替え前



建て替え後

健康経営の推進

- 社員の健康の維持・増進を持続的に図るための「健康経営計画」の推進
 - ・メンタルヘルス対策による心の健康保持・増進
 - ・女性特有の健康課題への理解増進



社員教育

当社では、社員研修センター等を活用した集合研修のほか、業務知識の習得や資質向上のサポートを目的とした自己啓発支援制度を実施しています。

社員研修センターを活用した集合研修

階層別研修

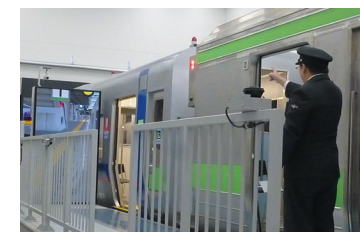
会社組織における各階層の果たすべき役割を認識するとともに、会社の経営方針・目標に対する理解を深め、社員相互の連帯感の醸成を図ることを主たる目的として実施しています。

職能別研修

鉄道の各業務に必要な技術・ノウハウの向上及び複数の専門業務の遂行能力の向上並びに法令等に定める資格取得を図ることを主たる目的として実施しています。



社員研修センター



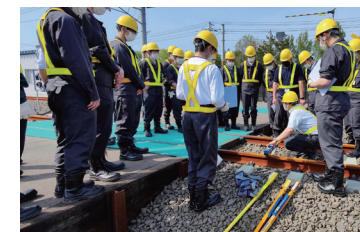
乗務員シミュレータを使用した実習



マルス端末を使用した切符発券等の実習



車両部品の回路組立実習



実習線設備を使用したレール計測実習



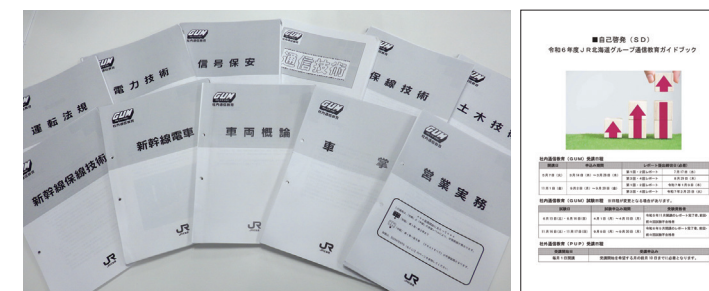
踏切・信号機等のメンテナンス等の実習

自己啓発支援制度

社員の自己啓発意欲の高揚を図るため、通信教育や国家試験資格等取得お祝い等の支援制度を導入しています。

当社の自己啓発支援制度

- ①通信教育(社内通信教育「GUM」／社外通信教育「PUP」)
- ②大学通信教育による学士修得支援
- ③MBA(経営管理修士)修得支援
- ④国家試験資格等取得お祝い



コンプライアンスの徹底

JR北海道グループは、お客様と地域の皆様から信頼される企業グループとなるため、グループ一丸となってコンプライアンスの徹底に向けた取り組みを実施しています。

【主な取り組み】

「コンプライアンス委員会」の設置

第三者による外部の視点を取り入れるために社外委員をメンバーに含めた「コンプライアンス委員会」を設置し、重大なコンプライアンス違反事象の原因究明と再発防止策について、妥当性の検証を行っています。

「グループコンプライアンス相談窓口」の浸透・活用の推進

相談窓口をより実効的に機能させるため、匿名受付や社外の窓口も設置しています。また、ポスターやコンプライアンスカードに相談窓口の連絡先などを掲載しています。

社会の要請に応える情報公開の推進

お客様の安全に関わるおそれがある事象、コンプライアンス上重大な事象、お客様にご迷惑をおかけした事象が発生した場合は、積極的かつ速やかに情報を開示します。

コンプライアンス教育の実施

これまで起きたコンプライアンス違反事例を自分ごととして捉え、一人ひとりが考え、意見を共有することで意識を高めるため、全ての社員が年に1回受講する職場内講習会を継続的に実施しています。